



まつりと紫陽花と雪のふるさと

# 城下町新庄を歩く



新田川が最上川に注ぎ込む河口にある八向橋は、最上川の雄大な流れに白い絶壁が映える景勝地です。(市指定文化財) 泉田の桜並木は、桜の名所として親しまれていますが、通りには国重文・旧矢作家住宅もある歴史の道です。



## 新庄東山焼き

新庄藩の御用窯として天保12年(1841)に開窯、現在5代目。「出羽のかげり」と呼ばれる味わいのある鮮やかな青い色が特徴。全国的に少なくなっている「登窯」で焼かれた、素朴さが魅力の特産品です。



## カド焼き大会

雪国新庄に春を告げるカド(鯨)を肴に地酒を飲み交わし、春の訪れを喜び合う新庄地方の伝統行事。毎年最上公園を会場に盛大に行われる。



●新庄駅前モニュメント



●萩野・仁田山鹿子踊奉納



国指定 新庄藩戸沢家墓所 戸沢藩歴代藩主御廟所。単層宝形造り、総檜造りで全7棟。



国指定 鳥越八幡神社 寛永15年(1638年)に建てられた新庄最古の建造物。



国指定 旧矢作家住宅 最上地方に一般的な「まや中門(片中間)造り」の中農住宅。江戸中期。

城下町の風情を偲ぶ  
旧町名標示柱  
御鷹部屋(現堀端町)



●御輿渡御行列

## 日本一の山車パレード 新庄まつり (8月24日~26日)

宝暦5年(1755)以来豊作祈願のために行われる伝統行事。戸沢神社例大祭に始まり、御輿渡御行列、萩野・仁田山鹿子踊奉納、日本一の山車パレードなど、各種行事が3日間にわたって繰り広げられる。



かむろ てんぐ  
神室の天狗

# かむてん公園

最上中央公園



人・環境にやさしい社会 最上エコポリス



山形県 最上総合支庁

〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上2034 TEL.0233(22)1111(代) / FAX.0233(22)1118  
Email:mogamidoro@pref.yamagata.jp



平成17年3月作成

# かむてん公園 (最上中央公園)

## 本公園の位置づけ

山形新幹線の新庄延伸決定（平成9年2月）に伴い、新庄市では「第3次新庄市振興計画」、「新庄市都市マスタープラン」に基づいて「新庄市中心市街地都市整備基本計画」、「新庄駅東地区整備基本計画」が策定されました。これらの中で、かむてん公園（最上中央公園）は、公園、緑地等の整備計画として、市西側の最上公園と東側の東山公園を結ぶ都市の緑軸形成の中心となる重要な位置づけにあります。

## 公園のあらまし

かむてん公園（最上中央公園）は、最上地方の地域づくりの拠点として、JR新庄駅の東側に計画された公園です。都市の緑軸の中核に位置し、最上エコポリス事業による最上交流拠点施設「ゆめりあ」と一体となり、広域からの集客と市民の交流レクリエーションの場としての整備を進めています。

また、平成14年に開催された「第19回全国都市緑化やまがたフェア」の新庄会場として使用され、期間中に46万人の来場者があり、大成功を収めました。

公園の総面積は7.7haで、平成11年度に駐車場区域0.7ha、平成15年度に公園区域5.8haについて、それぞれ事業を完了しております。また、現在未整備の緑道区域1.2haについては、新庄市の東山公園と一体的な整備を図っていく予定です。

## 愛称「かむてん公園」趣旨



神室の山がいつも目の前にある「かむてん」が、皆いつも遊んでる公園にならばいいなあ。



区域	面積
公園区域	5.8ha
駐車場区域	0.7ha
(緑道区域)	(1.2ha)
計	7.7ha

年度	事業経過
H9	基本構想策定・基本計画策定・地形測量・丈量測量
H10	基本設計策定・補助事業採択・調査設計・用地買収
H11	施設整備開始
H15	用地買収・駐車場区域事業完了 公園区域事業完了

施設名称	備考
屋内多目的施設	屋内フィールドは砂入り人工芝
すぽーていあ	
入口広場	
芝生広場	
ストリートバスケ	
スケボー広場	
ブナ科の森	
モクレンの森	
カエデの森	
ソリ遊び広場	
展望広場	
つばさの丘	
せせらぎ	
修景池	
親水広場	
休憩所	2カ所
屋外トイレ	1カ所
園内駐車場	障害者用(8台)
大規模駐車場	22,180㎡(819台)
(うち公園駐車場)	(7,200㎡/273台)
東口交通広場(第2駐車場)	19,580㎡(112台)



秋のイベント「コスモまつり」

ストリートスケート公園の利



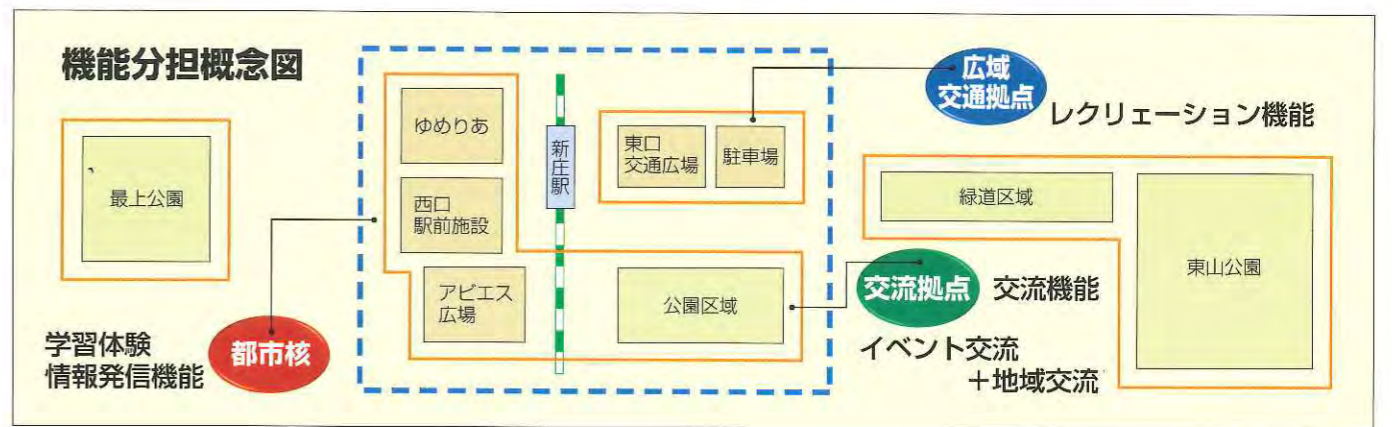
## 公園施設概要

# 花と水と 緑の暮らし



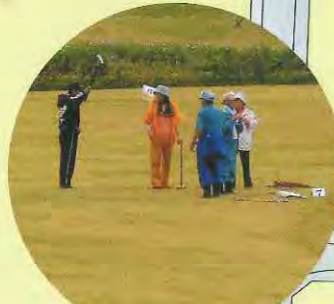
## ●基本テーマ 最上の風土と人々の感性を育む憩い・遊び・交流空間の形成

かむてん公園（最上中央公園）は、環境と人との共生を志向する最上エコポリス構想（エコロジー+ポリス）を受け、四季を通じて人々が交流し、最上地域の郷土性を体験することにより、最上地域の新たなイメージの形成と情報発信拠点を目指して、新庄駅周辺施設と機能を分担する形で整備形成されるものです。



## 緑道区域 将来計画

トバスケットに興じる若者やボードを楽しむ高校生など用途は増大しています。



グランドゴルフやターゲットバードゴルフなど壮年層の軽スポーツにも人気です。冬期間はクロスカントリースキーも可能。

## ENJOY SPORTS

# ZONING

## ゾーニングとその活動機能

周辺の立地特性、空間構成等を踏まえ、大別して3つのゾーンを形成する。



●**駐車場ゾーン**  
JR新庄駅と一体となったP&R対応駐車場P&R（パーク&ライド）方式の採用により特に滞泊を伴う新幹線利用者の便宜を図る。

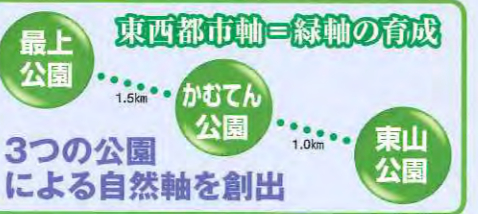
●**緑道ゾーン（将来計画）**  
東山公園との連携、散歩、眺望、植物観賞、自転車通行、ラングラウフスキー  
最上地域の里山を象徴する植物による（郷土の森）緑の回廊として、東山公園に通じる自転車通行可能な園路。

●**最上の森ゾーン**  
自然観察、自然体験、休養、散歩、眺望  
最上地域の植生を象徴するブナ科、様々な紅葉の色合いを鑑賞できるカエデ科、白い花を春の花見に楽しむモクレン科と、四季を通じて楽しむことができる森の空間。

●**交流拠点ゾーン**  
イベント交流、地域交流、遊び（雪遊び）、軽スポーツ、休憩、散歩  
芝生広場/最上全域規模の各種イベント、朝市、フリーマーケット、広い芝生の上で交流型のスポーツ活動、家族ピクニック、ソリ遊び、歩くスキー等の冬季利用  
屋内多目的施設/大規模な屋内型イベントの開催、通年利用型の催し物、コンサート、郷土芸能、見本市、展示即売会、積雪時・雨天時の軽スポーツ活動  
入口広場/公園の玄関口としてのサイン、植栽等による修景的なアプローチ空間  
河畔広場/升形川と一体となった親水空間で憩いと安らぎを創出する。

## 最上の森主要植栽樹種

- ブナ・コナラ・クヌギ・ミズナラ・コブシ・モクレン・ケヤキ・モミノキ・
- ネムノキ・ウメ・ヤマボウシ・カツラ・トチノキ・ナナカマド
- モミジ類（ヤマモミジ・イタヤカエデ・ハウチワカエデ・ミネカエデ ほか）
- サクラ類（オオヤマザクラ・ヤマザクラ・ソメイヨシノ ほか）



## 環境共生のシンボルとして いのちいきいき 自然共生都市づくり



④あじさいの杜



①市体育館



②市陸上競技場



③あじさいスタジアム

# 最上の風土と人々の感性を育む 憩い、遊び、交流 空間の形成



市民プール

市陸上競技場

市体育館

あじさいスタジアム

一般国道13号

すぽーていあ

ストリート  
バスケット

スケボー広場

升  
形  
川

一級河川升形川と親水広場



屋内多目的施設「すぽーていあ」

JR新庄駅

ゆめりあ

アピエス

若葉町アンダー



修景池



子供たちに人気の遊具